

近視抑制治療について

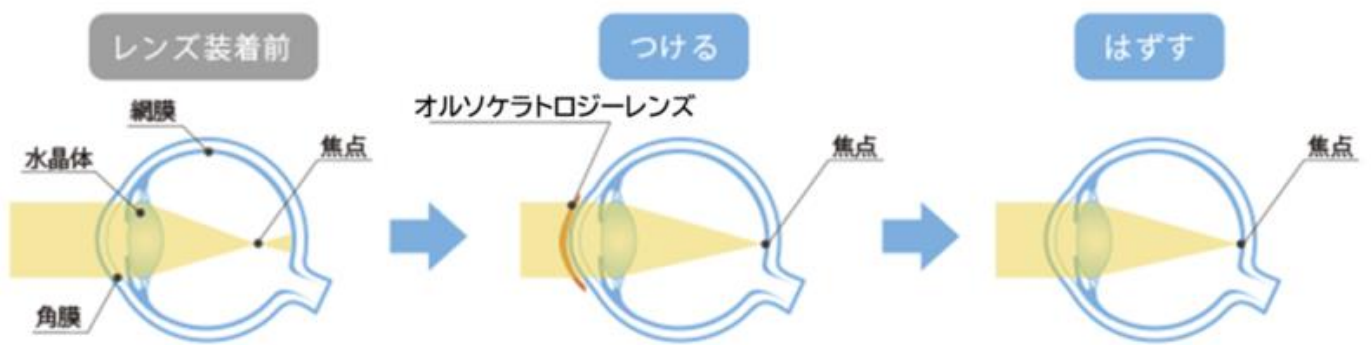
オルソケラトロジーについて

オルソケラトロジーとは近視矯正法の一つです

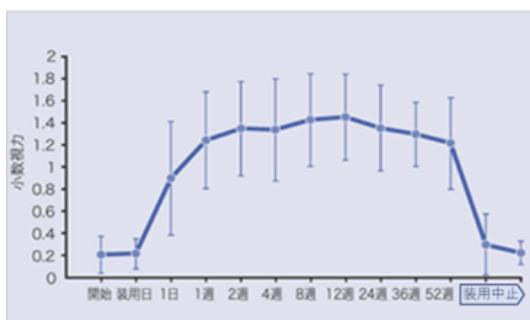
夜寝る前にハードコンタクトレンズを装着し翌朝レンズをはずすと、昼間は近視が矯正されて裸眼で生活ができるようになります。

就寝中にレンズが角膜の形状を変化させて、裸眼視力を矯正するのが特徴です。それにより翌朝レンズをはずした後も、角膜の形状が矯正された状態を一定時間維持できるため、裸眼で過ごせるようになります。

学童期において、近視進行抑制効果があるとされています。

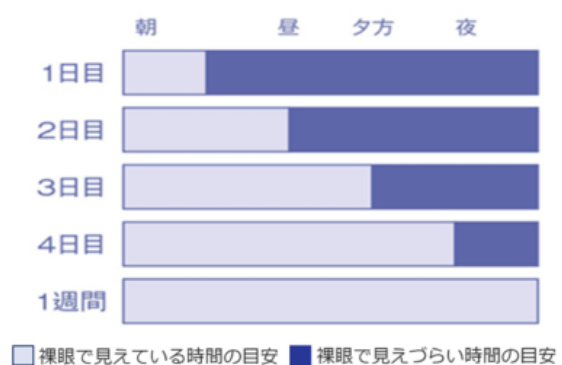


裸眼視力の経時変化



装用中止 装用を中止すると、裸眼視力は装用開始前の水準に1-3カ月程度で戻ることも確認されています。

裸眼で過ごせる時間の目安



オルソケラトロジーにも、メリットとデメリットがあります。

治療をご希望の方は、まず当院にご受診ください。詳しい説明をさせていただきます。

治療の費用について

オルソケラトロジーによる治療は自由診療となります。

当院での費用は以下の通りです。

■治療費用

	両眼装用1年目	2年目以降
適応検査代	¥ 5,500	
スターターキット	¥ 2,500	
治療費	¥ 55,000	
定額金額 (月額11,000円)	¥ 132,000	¥ 132,000
合計	¥ 195,000	¥ 132,000

■レンズ保障(発注日より換算)

1枚につき2回まで無料交換

※医師の指示による

■レンズ再作成(紛失・3回目交換)

項目	金額(税込)
再作成代(1枚)	¥ 16,500

※医師の指示による

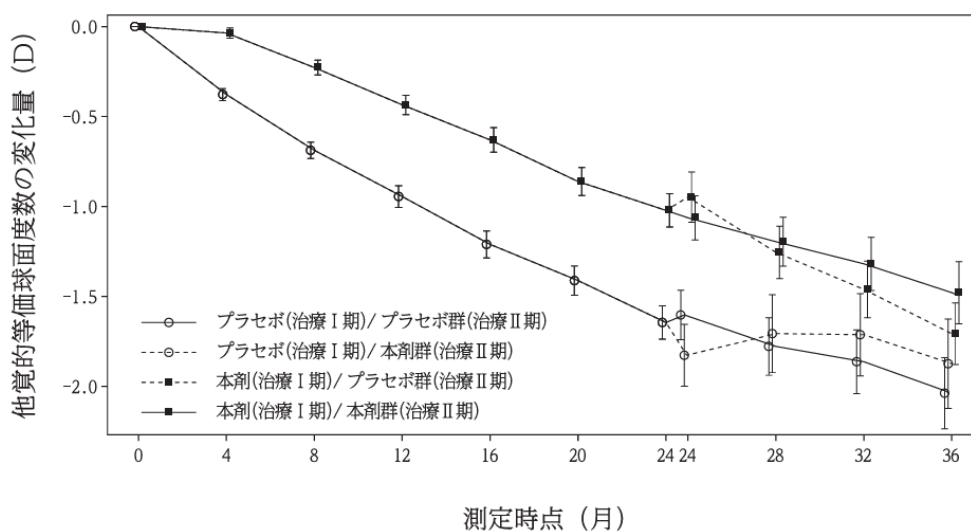
低濃度アトロピン点眼について

低濃度アトロピン点眼とは

2024年12月に日本において厚生労働省の承認を受けた近視進行抑制効果を持つ点眼薬です。1日1回夜寝る前に点眼をすることで、近視の進行が遅くなるのが日本人の5歳から15歳の学童を対象とした治験によって証明されました。

2025年4月には参天製薬からリジュセア®ミニ点眼薬0.025%が発売されて、希望者には点眼薬を処方できるようになりました。

販売元の参天製薬の資料では、本剤を点眼した群で優位に近視進行が遅くなっていることが治験結果から分かりました。



投与前からの他覚的等価球面度数の変化量(D)の推移(平均値±標準誤差)

参天製薬リジュセアミニ点眼薬0.025%添付文書より

副作用について

アトロピン点眼薬は瞳を開く検査(散瞳検査)や近くにピントを合わせる機能を無くすために使用されています。そのため、まぶしいとか近くにピントが合わないといったような副作用があり、症状が強い方は点眼中止となります。

治療の流れ

初診時にはサイプレジン点眼薬を用いた調節麻痺下の屈折検査で遠視や弱視を除外し、近視の診断を行います。点眼を始めてから1週間から1か月で受診、点眼の順守状況と安全性を確認し、その後は3か月から6か月毎に経過観察を行います。また、眼軸長の経過観察も行います。

少なくとも近視進行が安定化する10代後半までは点眼を継続することが望ましいと言われています。治療終了後も、引き続き屈折検査または眼軸長の測定を6か月毎に行い、近視の進行を認めた場合には、早期の治療再開を検討します。

治療の費用について

この治療については、選定療養費として通常の診療とは別に薬剤費をご負担いただきます。当院での費用は以下の通りです。

■ 薬剤費

リジュセアミニ点眼液 0.025% 30本入 1箱	4,000円
---------------------------	--------